



## SGRAふくしまスタディツアー2016参加者募集

関口グローバル研究会(SGRA)では2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯館(いいたて)村でのスタディツアーを行ってきました。そのスタディツアーでの体験や考察をもとにしてSGRAワークショップ、SGRAフォーラム、SGRAカフェなど、さまざまな催しを展開してきました。今年も第5回目の「SGRAふくしまスタディツアー」を行います。ぜひ、ご参加ください。

### 《帰還に挑む》

-何ができるのか、何をを目指すのか-

日程：2016年5月13日(金)、14日(土)、15日(日)

人数：10人程度

宿泊：「ふくしま再生の会-霊山(りょうぜん)センター」

参加費：一般参加者は新幹線往復費用+1万2千円

(ラクーン会会員には補助が出ます)

申込み締切：4月30日(土)

申込み・問合せ：SGRA事務局 角田 E-mail: [tsunodaaisf@gmail.com](mailto:tsunodaaisf@gmail.com)

Tel:03-3943-7612

### 【プログラム】

(プログラム内容は地元の状態を見ながら計画します)

#### 第1日目：

朝：東京⇒福島(新幹線)

午後：飯館村内の視察・見学

夜：村民(避難住民)、「ふくしま再生の会」メンバー達との語らい

テーマ：「帰還に挑む-地域住民として、今語りたいこと」(菅野宗夫)

「ふくしま再生の会の活動」(田尾陽一)

「帰還と風評被害：原発事故被災地の苦悩」(地元村民)

#### 第2日目

朝：避難住民との語らい/村内見学

避難所生活を送るお年寄りたちとの語らい：「いつ、自分の家に帰れるのか・・・」

午後：「ふくしま再生の会」での協働作業

地元農民、「ふくしま再生の会」のメンバーと共に協働作業

夜：若い世代との語らい

若い世代との語らい：「飯館村再生と地域の継承」「真手(マテイ)の村造りは持続可能か」

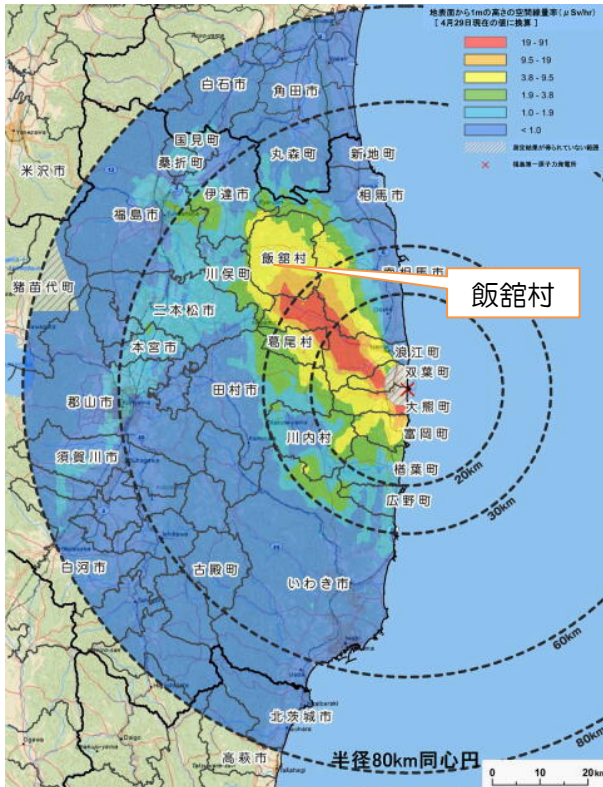
#### 第3日目

午前：未定(参加者の希望で決めます)

午後：飯館⇒福島、福島⇒東京(新幹線)

#### ツアーの安全性について：

1. 飯館村の放射線量は低減し、除染作業も進められています。
2. 飯館村内では昼間の活動は認められており、多くの住民や車が行き交っています。
3. ツアーには放射能問題の専門家が同行し、放射線量が高いと思われる場所での活動は行いません。
4. 一人一人が放射線測定器を持ち、自分で計測し、ポイントごとに安全を確認しながら行動します。
5. 夜は、飯館村外の宿泊施設に泊まります。



文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果

## 《飯舘(いいたて)村とは》

東京から北に約300Km

福島第一原発から北西に約30~40Km

人口：6,100人

面積：230Km<sup>2</sup> (東京の山手線内の3,5倍)

主な産業：酪農、農業、林業など

飯舘村は75%が森林に囲まれ「日本の美しい村100選」にも選ばれた村でした。

## 《飯舘村の放射能被害》

- 東日本大震災による福島第一原発事故が発生したのは2011年3月11日。この時点では飯舘村には深刻な被害はありませんでした。
- しかし、3月14日福島第一原発が水蒸気爆発をおこし大気中に放射能汚染物質 (radioactive pollutant) がまき散らされました。放射能汚染物質が風に乗って飯舘村の上空に来た時、雨や雪が降り、雨や雪に付着した放射能汚染物質が飯舘村に降り注いだのです。
- そして5月に政府の唐突な指示により全村避難が開始され、いまだに全村民が避難生活を余儀なくされています。

## 【飯舘村の現状と問題】

- 飯舘村の全村民は、現在でも近隣の町村あるいは日本各地で避難生活をしています。しかし、村内で生活すること (夜、寝泊りをする) は禁止されていますが、昼間に村内に入って活動することは許されています。
  - 現在は、放射線量も徐々に下がりはじめています。また膨大な資金を投入し家屋や農地の除染 (decontamination) 事業が今も行われています。
- 《政府からは1年後の「2017年3月に帰還する」という方針が出されました》
- しかしながら住民が帰還したとしても、一度汚染された土地で、以前と同様の酪農や農業、林業を再興するためには、数十年という時間と労力がかかります。政府は、こうした地域再生に対する具体的な政策は持っていません。
  - 多くの住民たちは「自分のふるさとに帰りたい」、「ふるさとで昔ながらの生活をしたい」という想いを持つ一方で、帰ったとしても「生活ができない」というジレンマに直面しています。
  - 一方で、飯舘村への帰還を目指す住民たちの、地域の文化、伝統を継承しながらの新しいコミュニティづくり、地域産業の再生に向けた新しいチャレンジが始まっています。

## 【ふくしま再生の会】

- 今回のスタディツアーの受入団体である「ふくしま再生の会」は、飯舘村の農民、都市からのボランティア、大学等の研究者/学識者 (東大大学院農業学生命科学研究科、高エネルギー加速器研究機構等、世界の大学・研究所) の3グループのコラボレーションを原則として、飯舘村でボランティア活動を行っている認定NPO法人です。
- 2011年秋から、飯舘村の再生プロジェクトとして、住民による効率的な除染方法の研究開発や飯舘村に伝わる「マデイ (真手)」の考え方をもとにした、サステイナブル/エコロジカルな地域産業とコミュニティの再生に取り組んでいます。